

平成30年度定時総会資料

平成30年6月12日

東三河懇話会

平成30年6月12日（火）午後3時～6時  
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会  
平成30年度定時総会次第

午後3:00～3:45 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」  
議案1. 平成29年度事業報告並びに収支決算報告の件  
議案2. 平成30年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件  
議案3. 役員改選の件  
議案4. 設立50周年記念事業の件

午後3:50～4:50 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」  
講師： 東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻  
教授 小泉秀樹氏  
演題： 「少子高齢社会におけるまちづくりとエリアのマネジメント」

（移動）

午後5:00～6:00 **交流懇親パーティー** 4階「ザ・テラスルーム」

議 案 1. 平成 2 9 年度事業報告並びに収支決算報告の件

## 東三河懇話会

### 平成 2 9 年度事業報告

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

平成 2 9 年度の我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調を維持しました。それに伴い、個人消費や民間企業設備投資など国内需要も持ち直しており、好循環が進展しました。また、これまでの景気回復期にはその恩恵が届きにくかった中小企業や地方経済にも効果が及びつつあります。しかし、好調な企業収益に対し、労働者の賃上げが緩やかであり、労働生産性の伸びも十分ではないなどの課題も残しました。

地域に目を向けますと、愛知県全体では前年に比べ人口が増加しましたが、その中で唯一、東三河地域の人口は減少いたしました。このため、今後の地域経済の活性化では、人口減少・高齢化を見据え、自動走行等のイノベーションを活かせる社会基盤の整備、人材・技術・素材などの地域資源を活かし、事業承継を実現できる環境整備等が一層求められ、さらに今後の活力の源泉となる地域産業人材の育成・確保がより重要になると考えます。また、国が進める「働き方改革」に関わる高齢者、女性などの働きやすい環境づくりは、定住や移住を促す魅力ある地域づくりに繋がる重要な視点になっていくと予想されます。

こうした中、平成 2 9 年度の当会の活動を振り返りますと、定期開催いたしております産学官交流サロンが今年 2 月に 4 0 0 回目の開催となり、豊橋技術科学大学の大西学長に「地域と大学」をテーマに講演いただきました。午さん交流会では、閉館が予定された名豊ビルにおいて「さよなら名豊ビル」と題し講演会を開催した他、田原市、蒲郡市にて開催し現地での交流も図りました。その他、幹線道路計画説明会、三河港事業計画等説明会、瑞浪超深地層研究所視察会等、地域の基盤整備に繋がる交流機会および勉強の場を設けてきました。

また、6 月総会終了後の記念講演会では武藤国交事務次官による「これからの国土交通政策」についての講演、1 月新春懇談会での東三河 8 市町村の地方創生に向けた総合戦略の取り組み状況の発表等、会員交流、地域連携を図りながら活動を展開してまいりました。

引き続き、平成 3 0 年度も会員の皆様のニーズを受け止め、新しい時代に即した東三河づくりを進めていくため、地域を繋ぎ、産学官交流の質の向上を目指してまいります。会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。次第です。

## (1) 重点戦略事業

### ①東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を担う役割を果たしてきた。

### ②東三河広域連合、東三河広域経済連合会との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能をフル活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携、協力を実施した。

## (2) 広域連携事業

### ①国際自動車コンプレックス研究会

第20期目の研究活動を継続している。「第15回高等学校エコカーレース総合大会」の共催、研究交流会、国内視察会などを開催した。  
(詳細後記)

### ②三遠南信サミット2017 in 遠州

平成29年10月に、静岡県浜松市で行われた第25回三遠南信サミットに参加し、三遠南信地域の連携・交流に協力した。

③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会、三河港湾関係諸団体の活動に参画、協力した。

## (3) 産学官民交流事業

### ①東三河産学官交流サロン（12回／年）

12回開催した。地元各大学からの講師のほか、地域で活躍されている経済人などを講師としてお招きして、産学官民の交流連携、情報交換の場を提供した。

(第390回～401回 詳細後記)

### ②東三河午さん交流会（10回／年）

10回開催した。地域に密着したさまざまな話題をピックアップして、東三河においての文化的、芸術的活動を实践・貢献されている方々を紹介した。

(第171回～180回 詳細後記)

### ③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の東三河の全市町村長によるパネルディスカッションを実施し、「地方創生に向けた総合戦略の振り返りと今後の取組み」をメインテーマとして、東三河のこれからの姿の展望についての活発な議論が行われた。

(詳細は、会報MIKAWA—NAVI特別号に掲載)

### ④視察会

平成30年2月に東濃地科学センター「瑞浪超深地層研究所」他視察会を実施した。

(詳細後記)

#### (4) 会員サービス事業

##### ①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

平成29年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催した。  
同じく6月に「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催した。  
(詳細後記)

##### ②東三河地域問題セミナー

(公社)東三河地域研究センターの主催で2回、さらに平成30年3月に、地域関連研究発表会を開催、運営協力をした。  
(詳細後記)

##### ③広報

会報誌MIKAWA—NAVI (季刊) の発行。新春特別版の発行。  
ホームページによる広報。URL : <http://www.konwakai.jp>

#### (5) 会員増強

##### ○新入会

[法人会員] 3口

- ・太陽生命保険(株)
- ・東海工営(株)
- ・明治安田生命(相) 岡崎支社

(敬称略)

## 運営の部

### 1. 定時総会・記念講演会

平成29年6月14日（水）午後3：00～6：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

#### ・議事

議案1. 平成28年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

議案3. 規約変更の件

議案4. 役員変更の件

#### ・記念講演 国土交通事務次官 武藤 浩氏

「これからの国土交通政策 ～観光振興・社会資本整備を中心に～」

（詳細後記）

### 2. 理事会

平成29年5月22日（月）午前11：00～12：00

於：ホテルアークリッシュ豊橋

### 3. 会員数及び口数の状況

(1) 入 会	法人会員	3社	( 3口)
	特別会員		( 1口) 増口
退 会	法人会員	2社	( 2口)

#### (2) 平成30年3月31日現在会員数

法人会員	147社	(180口)
個人会員	2名	( 2口)
特別会員	12団体	( 29口)
推薦会員	2名	—

## 資料（事業の詳細）

### 1. 国際自動車コンプレックス研究会 活動状況

(1) 視察会（H29.5.23～24）

北九州港・博多港港湾施設視察会

訪問先：ひびきコンテナターミナル、門司港レトロ地区、博多港国際コンテナターミナル、  
中央ふ頭クルーズセンター 他

(2) 第15回高等学校エコカーレース総合大会（H29.6.4 於：ユタカ自動車学校 特設コース）

出走台数：エコハイクラス部門 9 台、オープンクラス部門 28 台、充電電池部門 13 台  
来場者数：900 人

(3) 第 49 回研究交流会（H29.8.22 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール）

講 師：熊本大学 大学院人文社会科学部 教授 戸川健一氏

演 題：「自動車リサイクルと地域づくり」

出席者：40 名

(4) 第 50 回研究交流会（H29.9.7 於：豊橋市民センター（カリオンビル）6階多目的ホール）

講 師：株式会社MTI 物流グループ長 栗本 繁氏

演 題：「完成車物流における次世代ソリューションと価値創造」

出席者：50 名

(5) 第 19 期報告総会・記念講演会（H30.2.7 於：豊橋商工会議所 5階 508 会議室）

講 師：国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部長 田中知足氏

演 題：「最近の港湾行政について」

出席者：54 名

### 2. 講演会、懇談会等

(1) 総会・記念講演会（H29.6.14 於：ホテルアークリッシュ豊橋）

講 師：国土交通事務次官 武藤 浩氏

演 題：「これからの国土交通政策 ～観光振興・社会資本整備を中心に～」

出席者：総会 134 名、講演会 176 名、懇親会 124 名

(2) 平成 29 年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]

(H29.6.16 13:30～15:00 於：ライフポートとよはし 中ホール)

・平成 29 年度 三河港関連事業計画等説明

講 師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 所長 平澤 興氏

愛知県 三河港務所 所長 山田哲夫氏

愛知県 三河港工事事務所 所長 野々山宜尚氏

参加者：90 名

(3) 平成 29 年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(H29.6.27 14:30~16:30 於: ライフポートとよはし 中ホール)

・平成 29 年度 東三河地区幹線道路整備計画説明

講 師: 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 牛居恒太氏  
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 所長 尾藤文人氏  
中日本高速道路(株) 豊川工事事務所 所長 江良嘉宏氏  
愛知県 東三河建設事務所 所長 足立真宏氏  
愛知県 新城設楽建設事務所 所長 石川博英氏

参加者: 127 名

(4) (公社)東三河地域研究センター 総会記念講演会

・通常総会 (H29.11.28 15:00~17:00 於: ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ: 「地域づくりは楽しい」

講 師: 愛媛県 市町振興課長 井上貴至氏

参加者: 117 名

(5) 三遠地区地域懇談会 [中部経済同友会、静岡経済同友会浜松協議会と共催]

(H30.3.5 16:00~19:00 於: ホテルアークリッシュ豊橋)

・テーマ「県境を越えた広域連携」

講演①

講 師: (株)サーラコーポレーション 代表取締役社長 神野吾郎氏

演 題: 「県境を越えた広域連携の意義と課題」

講演②

講 師: 愛知大学地域政策学部教授/三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏

演 題: 「広域連携の背景及び他地域での取り組み事例」

参加者: 68 名

### 3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センターと共催

(年 1 2 回、毎月第 3 火曜日を原則 18:00~20:30 於: ホテルアークリッシュ豊橋)

第 390 回 4.11(火) 参加者 85 名

・豊橋創造大学 経営学部経営学科 教授 島田大助氏

「寶光山金西寺蔵『當寺御開山御真筆』」について -織田信長関連資料-

・愛知県立三谷水産高等学校 校長 丸崎敏夫氏

「夢のある水産教育」

第 391 回 5.17(水) 参加者 82 名

・豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授/エレクトロニクス先端融合研究所所長  
澤田和明氏

「イオンイメージセンサ開発と社会実装に向けた取り組み」

・医療法人信愛会/社会福祉法人明世会 理事長 大石明宣氏

「医療・介護・福祉の将来 ~地域包括ケアの推進~」

第 392 回 6. 21(水) 参加者 105 名

- ・愛知大学 地域政策学部 学部長 岩崎正弥氏  
「食農・環境コースの新設」
- ・三信建材工業(株) 代表取締役 石田敦則氏  
「建設業界でのドローンによるイノベーション実践実例のご紹介」

第 393 回 7. 19(水) 参加者 78 名

- ・愛知工科大学 工学部 情報メディア学科 准教授 杉森順子氏  
「-エンターテインメントから産業応用へ- プロジェクションマッピングの最前線」
- ・武蔵精密工業(株) 取締役上席執行役員 総務・サステナビリティ推進統括 内田 透氏  
「武蔵精密工業(株)について ~豊橋からグローバルへ、そして産業・製品の変化対応~」

第 394 回 8. 22 (火) 参加者 99 名

- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授/安全安心地域共創リサーチセンター長 齊藤大樹氏  
「建物の耐震性を高め、迫りくる巨大地震に備える」
- ・愛知県 建設部長 河野修平氏  
「愛知県における社会資本整備の羅針盤 ~建設部方針 2020~」

第 395 回 9. 20 (水) 参加者 81 名

- ・愛知大学 経営学部 教授 望月恒男氏  
「日本企業のグローバル化と管理会計~タイ、マレーシアおよびシンガポール進出企業を中心として~」
- ・独立行政法人水資源機構 豊川用水総合事業部部長 小酒井 徹氏  
「豊川用水通水 50 年の歩み」

第 396 回 10. 17 (火) 参加者 74 名

- ・(株)竹中パートナーズ 代表取締役兼最高経営責任者 竹中征夫氏  
「今こそ必要な、海外進出」

第 397 回 11. 21 (火) 参加者 78 名

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系教授/人間・ロボット共生リサーチセンター長 岡田美智男氏  
「〈弱いロボット〉の研究:人とロボットとの持ちつ持たれつ関係をめざして」
- ・ベルフォアジャパン(株) 業務推進部長 田島崇士氏  
「巨大災害からの事業復旧に向けて~世界最大を誇る災害復旧専門会社ベルフォア~」

第 398 回 12. 26(火) 参加者 79 名

- ・浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 地域共創学科 観光ツーリズム専攻 田中健二氏  
「観光でつなぐ三河と遠州」
- ・社会医療法人明陽会 成田記念病院 放射線科部長 柳 剛氏  
「明日につながる陽子線治療」

第 399 回 1.16(火) 参加者 77 名

- ・豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 中内茂樹氏  
「視覚認知情報学の世界 ～人工知能の時代こそ人間を理解する必要がある～」
- ・湖西市長 影山剛士氏  
「湖西市の新たな将来ビジョン ～持続可能な発展のために～」

第 400 回 2.21(水) 参加者 100 名

- ・豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏  
「地域と大学」

第 401 回 3.20(火) 参加者 61 名

- ・愛知大学 文学部教授 伊東利勝氏  
「宗教の政治経済学」
- ・(株)パーソル総合研究所 タレントマネジメント事業本部 タレントマネジメントコンサルティング部ディレクター 甲斐順也氏  
「～働き方改革第 2 章 “生産性革命” ～ 『HR Tech の活用で実現する人材活用効率変革のシナリオ』」

#### 4. 東三河午さん交流会 (公社)東三河地域研究センターと共催

(年 10 回、5、1 月を除く毎月第 1 金曜日を原則 11:30～13:00)

第 171 回 4.07 (金) 参加者 51 名

- ・(公財)豊橋市体育協会 理事長／豊橋市観光コンベンション協会 副会長 神野紀郎氏  
「さよなら 名豊ビル」

第 172 回 6.02 (金) 参加者 46 名

- ・(公財)松下政経塾 第 35 期生 岡田吉弘氏  
「松下政経塾で考える、ロボット・AI による新しい社会」

第 173 回 7.07 (金) 参加者 51 名

- ・(一社)奥三河ビジョンフォーラム 事務局長 清水良文氏  
「奥三河の危機 ～今やカンフル剤はないのか?～」

第 174 回 8.04 (金) 参加者 33 名

- ・渥美半島 100 年の計・研究所 所長 板倉祥文氏  
「2040 年・田原市人口 7 万人に!!」

第 175 回 9.15 (金) 参加者 50 名

- ・セーリングワールドカップ愛知・蒲郡大会実行委員会 事務局長 桑野安史氏  
「セーリングワールドカップ愛知・蒲郡大会開催について」

第 176 回 10.06 (金) 参加者 35 名

- ・(一社)東三河セーフティネット 代表理事 金田文子氏  
「こども・若者たちがそれぞれの未来を拓くために」

第177回 11.10(金) 参加者30名

- ・奥三河郷土館学芸員／自然体験活動指導員 石井峻人氏  
「外部人材と地域の文化財」

第178回 12.01(金) 参加者32名

- ・命にやさしいまちづくり ハーツ 代表 古橋幸子氏  
「東三河の野良猫問題解決法」

第179回 2.02(金) 参加者43名

- ・蒲郡市竹島水族館 副館長／飼育主任学芸員 戸舘真人氏  
「竹島水族館の新たな試みとしての解説」

第180回 3.02(金) 参加者33名

- ・(株)ビジネスリンク 代表取締役 西川幸孝氏  
「人材育成とモチベーション向上策」

## 5. 平成30年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(H30.1.10 於：ホテルアークリッシュ豊橋)

テーマ：「地方創生に向けた総合戦略の振り返りと今後の取組み」

内容：東三河8市町村長によるパネルディスカッション

パネリスト

豊橋市長	佐原光一氏
豊川市長	山脇 実氏
蒲郡市長	稲葉正吉氏
新城市長	穂積亮次氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	横山光明氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏

コーディネーター

豊橋技術科学大学 学長 大西 隆氏

参加者：273名

## 6. 視察会、セミナー

(1) 国内視察会の開催

- ・東濃地科学センター「瑞浪超深地層研究所」他視察会 (H30.2.26)

視察先：東濃地科学センター「瑞浪超深地層研究所」、中部電力(株)「中央給電指令所」他

参加者：24名

## 7. 東三河地域問題セミナー (主催：(公社)東三河地域研究センター)

(1) 第2回公開講座(H29.7.31 於：ホテルアークリッシュ豊橋4階 テラスルーム)

講演 1 : 「外国人技能実習制度の概要と地域社会との共生」  
講 師 : (公財) 国際研修協力機構 能力開発部指導課 参事役 大谷一広氏  
講演 2 : 「農産物のブランド化と労働力確保の実態と課題について」  
講 師 : 協同組合ティー・エー・エス 代表理事 河合信彦氏  
参加者 : 55 名

(2) 第 3 回公開講座(H29. 8. 21 於 : 豊橋商工会議所 5 階 508 会議室)

講演 1 : 「熊本地震等近年の地震からの教訓」  
講 師 : 名古屋大学大学院環境学研究科 地震火山研究センター 准教授 山中佳子氏  
講演 2 : 「熊本地震の現状と農業における危機管理」  
講 師 : (有) 木之内農園 (熊本県南阿蘇村) 代表取締役会長  
東海大学 (熊本キャンパス) 経営学部経営学科 専任教授 木之内 均氏  
参加者 : 52 名

## 8. 東三河地域関連研究発表会 (主催 : (公社) 東三河地域研究センター)

(1) 第 24 回地域関連研究発表会 (H30. 3. 15 於 : 愛知大学 豊橋キャンパス本館 5 階 )  
参加者 : 28 名

## 9. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社) 中部経済連合会
- (2) (公財) 中部圏社会経済研究所
- (3) (一財) 東海産業技術振興財団
- (4) (一社) 奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海 “三河湾” 環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) (NPO) 穂の国森づくりの会
- (11) (NPO) 朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道 151 号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) (一社) 豊橋観光コンベンション協会
- (16) (公財) 豊橋市国際交流協会
- (17) (公財) 豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530 運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

平成29年度  
収 支 決 算 書  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

収入決算額	33,875,454円
支出決算額	32,001,740円
差引残高	1,873,714円

《 収 入 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 会費収入</b>	24,102,000	24,102,000	0	100.0%	
1)法人会費	21,600,000	21,600,000	0	100.0%	
2)個人会費	240,000	240,000	0	100.0%	
3)特別会費	2,262,000	2,262,000	0	100.0%	
<b>2. 事業収入</b>	6,570,000	6,063,318	△ 506,682	92.3%	
1)産学官交流サロン	4,280,000	3,857,740	△ 422,260	90.1%	
2)午さん交流会	1,340,000	1,280,578	△ 59,422	95.6%	
3)新春懇談会	850,000	925,000	75,000	108.8%	
4)その他の事業	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
<b>3. その他の収入</b>	1,905,000	1,900,460	△ 4,540	99.8%	
1)特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
①減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2)雑収入	1,905,000	1,900,460	△ 4,540	99.8%	
①受取利息	5,000	460	△ 4,540	9.2%	
②雑収入	1,900,000	1,900,000	0	100.0%	
<b>当期収入合計</b>	32,577,000	32,065,778	△ 511,222	98.4%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,809,676	1,809,676	0	100.0%	
<b>収入合計</b>	34,386,676	33,875,454	△ 511,222	98.5%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
<b>1. 運営事業費</b>	2,000,000	1,951,229	△ 48,771	97.6%	
1) 総会・理事会費	750,000	765,304	15,304	102.0%	
2) 広報費	1,150,000	1,126,258	△ 23,742	97.9%	会報誌発行・郵送等
3) 講演・説明会費	100,000	59,667	△ 40,333	59.7%	
<b>2. 事業費</b>	6,330,000	6,310,974	△ 19,026	99.7%	
1) 産学官交流サロン	4,080,000	4,046,752	△ 33,248	99.2%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,289,032	△ 10,968	99.2%	
3) 新春懇談会	850,000	975,190	125,190	114.7%	
4) その他の事業	100,000	0	△ 100,000	0.0%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,514,000	11,549,203	35,203	100.3%	
1) 調査・研究費	8,034,000	8,034,000	0	100.0%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,480,000	3,515,203	35,203	101.0%	
<b>4. 管理費</b>	12,552,000	12,034,069	△ 517,931	95.9%	
1) 給料手当	5,640,000	5,593,824	△ 46,176	99.2%	
2) 福利厚生費	1,120,000	1,021,387	△ 98,613	91.2%	
① 福利厚生費	230,000	140,620	△ 89,380	61.1%	
② 法定福利費	890,000	880,767	△ 9,233	99.0%	
3) 会議費	20,000	18,980	△ 1,020	94.9%	
4) 旅費交通費	216,000	163,950	△ 52,050	75.9%	
5) 通信運搬費	566,000	526,903	△ 39,097	93.1%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	960,000	791,080	△ 168,920	82.4%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	960,000	791,080	△ 168,920	82.4%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	△ 35,142	76.6%	総会資料・会員名簿等
9) 新聞・図書費	242,000	240,092	△ 1,908	99.2%	
10) 水道光熱費	260,000	239,915	△ 20,085	92.3%	
11) 賃借料	2,904,000	2,886,912	△ 17,088	99.4%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	43,736	△ 16,264	72.9%	
13) 諸会費	354,000	354,000	0	100.0%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	38,432	△ 21,568	64.1%	
<b>5. その他の支出</b>	156,265	156,265	0	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	156,265	156,265	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	100,000	100,000	0	100.0%	
<b>当期支出合計</b>	32,552,265	32,001,740	△ 550,525	98.3%	(C)
<b>当期収支差額</b>	24,735	64,038	39,303		(A) - (C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,834,411	1,873,714	39,303		(B) - (C)

## 貸借対照表

平成30年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 資産の部</b>		
1. 流動資産		
(1)現金	5,987	
(2)預金	5,627,634	
(3)未収入金	100,510	
(4)前払金	241,920	
流動資産合計		5,976,051
2. 固定資産		
(1)基本財産		
①定期預金	2,000,000	
基本財産合計	2,000,000	
(2)その他固定資産		
①設備什器備品	407,926	
②電話加入権	213,000	
③敷金	2,688,000	
④減価償却引当特定預金	2,414,279	
⑤事務所移転費用積立預金	100,000	
その他固定資産合計	5,823,205	
固定資産合計		7,823,205
<b>資産合計</b>		<b>13,799,256</b>
<b>II. 負債の部</b>		
1. 流動負債		
(1)未払金	848,837	
(2)預り金	586,030	
流動負債合計		1,434,867
<b>負債合計</b>		<b>1,434,867</b>
<b>III. 正味財産の部</b>		
<b>正味財産</b>		12,364,389
(うち基本金)		(2,000,000)
(うち当期正味財産減少額)		(2,518,862)
<b>負債及び正味財産合計</b>		<b>13,799,256</b>

## 正味財産増減計算書

平成 29年 4月 1日から平成 30年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I. 増加の部</b>		
1. 資産増加額		
当期収支差額	64,038	
減価償却引当預金増加額	56,265	
事務所移転費用積立預金増加額	100,000	
資産増加額計		220,303
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
<b>増加額合計</b>		<b>220,303</b>
<b>II. 減少の部</b>		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
事務所移転費用積立預金減少額	158,080	
事務所移転費用減少額	2,524,820	
資産減少額計		2,739,165
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
<b>減少額合計</b>		<b>2,739,165</b>
<b>当期正味財産減少額</b>		<b>2,518,862</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>		<b>14,883,251</b>
<b>期末正味財産合計額</b>		<b>12,364,389</b>

<参 考>

## 国際自動車コンプレックス研究会 第19期収支決算書

(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,320,000	1,320,000	0	100%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	500,000	944,854	444,854	189%	
雑収入	45	5	-40	11%	
当期収入合計	1,820,045	2,264,859	444,814	124%	
前期繰越収支差額	253,955	253,955	0	100%	
収入合計	2,074,000	2,518,814	444,814	121%	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	150,000	141,332	-8,668	94%	
研究交流会費	200,000	288,815	88,815	144%	
事業費	1,200,000	1,726,639	526,639	144%	
運営費	500,000	200,000	-300,000	40%	
予備費	24,000	0	-24,000	0%	
当期支出合計	2,074,000	2,356,786	282,786	114%	
次期繰越収支差額	0	162,028	162,028	0%	

## 監 査 報 告 書

東三河懇話会  
会長 吉川一弘殿

東三河懇話会の、平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成30年5月8日

東三河懇話会

監 事 豊橋信用金庫 専務理事

市 川 智 嗣 

監 事 ㈱三菱UFJ銀行 豊橋支社長

中 谷 安 伸 

監 事 中部電力㈱ 豊橋営業所長

近 藤 仁 

議案2. 平成30年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)の件

## 東三河懇話会

### 平成30年度事業計画(案)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

#### 1. 基本方針

昭和43年10月に設立された当会は、今年10月15日に設立50周年を迎えます。

今年度は例年の事業に加え、50周年記念事業として10月に「設立50周年記念式典」の開催を予定します。詳細はこれからですが、会員の皆様に加え、これまでの懇話会の活動に関係された多くの皆様にご参加いただく会にしていきたいと考えています。

併せて、「設立50周年記念誌」の発刊を予定します。東三河地域の発展と共に歩んだ50年、当会の活動の歴史を当時の時代背景と重ねあわせて振り返りながら、記録として残していきたいと考えています。

継続事業として、「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」の開催を通し、東三河地域の連携、産学官民の交流の場を提供してまいります。また、官民の価値観共有・協働に向けた勉強の機会を設け、地域の多様な機関・組織をつなぐネットワークセンターとして活動してまいります。

設立当初、活動理念として掲げた「東三河はひとつ」は、今も変わらず当会の活動の指針となっています。今後も皆様との結束力を高め、「東三河はひとつ」を合言葉に、この地域が、住みたい、訪れたい、学びたい、働きたいと思う「生活の都」となるよう努力いたす所存です。

#### 2. 事業計画

##### (1) 重点戦略事業

###### ① 東三河の産学官交流・広域連携のサポート、三遠南信地域連携ビジョンの推進

東三河産学官交流サロン、東三河午さん交流会等の事業を通じて、交流の場の提供と地域連携の推進を図る。

###### ② 東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携

東三河地域研究センターと共同でシンクタンク機能をフル活用して、政策提言、ビジョン策定支援などで緊密な連携を図る。

##### (2) 広域連携事業

###### ① 国際自動車コンプレックス研究会

三河港振興会・自動車港湾委員会と連携をとりながら研究活動を継続。産学官連携活動、自動車関連観光実験の推進。防災計画、BCPの研究など「国際自動車コンプレックス計画」の推進に資する研究交流会、シンポジウム、視察会等の開催。

②三遠南信サミット

本年度は豊橋市で行われる予定の三遠南信サミットへの参加。県境を越えた三遠南信地域の連携・交流事業に協力。

③三河港振興会、豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会、伊勢湾再生海域検討会

当地の最重要インフラ三河港の発展と三河湾の環境保全等に資するため、関係諸団体との連携強化を図る。

### (3) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場を提供。東三河の産学官の講師からタイムリーな情報を発信する。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河においての文化的、芸術的活動を実践・貢献されている方々を紹介する。

③東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河の全市町村長参加のパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望する。

④視察会

年2回の開催を予定。

### (4) 会員サービス事業

①三河港関連事業整備計画・東三河地区幹線道路整備計画の説明会

ともに三河港振興会と共催で開催。本年度は、6月13日に港説明会、また7月9日に道路説明会の開催が決定している。

②東三河地域問題セミナー

東三河の今と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な学習の場として東三河地域研究センターが主催する。会員内外に広く周知し、動員を図る。

③広報

会報誌MIKAWA—NAVI（季刊）の発行。新春特別版の発行。

ホームページによる広報。URL：<http://www.konwakai.jp>

④設立50周年記念事業の実施

平成30年10月24日に設立50周年式典の開催。そして、設立50周年記念誌の発行を実施する。

**(5) 会員増強**

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させて、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求する。

平成30年度  
収支予算(案)  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	平成30年度	平成29年度	平成29年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 会費収入</b>	24,222,000	24,102,000	24,102,000	100.5%	
1) 法人会費	21,720,000	21,600,000	21,600,000	100.6%	181口
2) 個人会費	240,000	240,000	240,000	100.0%	2口
3) 特別会費	2,262,000	2,262,000	2,262,000	100.0%	29口
<b>2. 事業収入</b>	6,620,000	6,063,318	6,570,000	100.8%	
1) 産学官交流サロン	4,280,000	3,857,740	4,280,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,340,000	1,280,578	1,340,000	100.0%	
3) 新春懇談会	900,000	925,000	850,000	105.9%	
4) その他の事業	100,000	0	100,000	100.0%	
<b>3. その他の収入</b>	1,901,000	1,900,460	1,905,000	99.8%	
1) 特定預金取崩収入	0	0	0	0.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
2) 雑収入	1,901,000	1,900,460	1,905,000	99.8%	
① 受取利息	1,000	460	5,000	20.0%	
② 雑収入	1,900,000	1,900,000	1,900,000	100.0%	
<b>当期収入合計</b>	32,743,000	32,065,778	32,577,000	100.5%	(A)
<b>前期繰越収支差額</b>	1,873,714	1,809,676	1,809,676	103.5%	
<b>収入合計</b>	34,616,714	33,875,454	34,386,676	100.7%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	平成30年度	平成29年度	平成29年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
<b>1. 運営事業費</b>	2,000,000	1,951,229	2,000,000	100.0%	
1) 総会・理事会費	750,000	765,304	750,000	100.0%	
2) 広報費	1,150,000	1,126,258	1,150,000	100.0%	
3) 講演・説明会費	100,000	59,667	100,000	100.0%	
<b>2. 事業費</b>	6,380,000	6,310,974	6,330,000	100.8%	
1) 産学官交流サロン	4,080,000	4,046,752	4,080,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,289,032	1,300,000	100.0%	
3) 新春懇談会	900,000	975,190	850,000	105.9%	
4) その他の事業	100,000	0	100,000	100.0%	
<b>3. 調査・研究費</b>	11,554,000	11,549,203	11,514,000	100.3%	
1) 調査・研究費	8,074,000	8,034,000	8,034,000	100.5%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,480,000	3,515,203	3,480,000	100.0%	
<b>4. 管理費</b>	12,626,000	12,034,069	12,552,000	100.6%	
1) 給料手当	5,710,000	5,593,824	5,640,000	101.2%	
2) 福利厚生費	1,145,000	1,021,387	1,120,000	102.2%	
① 福利厚生費	230,000	140,620	230,000	100.0%	
② 法定福利費	915,000	880,767	890,000	102.8%	
3) 会議費	20,000	18,980	20,000	100.0%	
4) 旅費交通費	216,000	163,950	216,000	100.0%	
5) 通信運搬費	566,000	526,903	566,000	100.0%	
6) 消耗品費	900,000	791,080	960,000	93.8%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	900,000	791,080	960,000	93.8%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	150,000	114,858	150,000	100.0%	
9) 新聞・図書費	241,000	240,092	242,000	99.6%	
10) 水道光熱費	300,000	239,915	260,000	115.4%	
11) 賃借料	2,904,000	2,886,912	2,904,000	100.0%	
12) 交際費	60,000	43,736	60,000	100.0%	
13) 諸会費	354,000	354,000	354,000	100.0%	
14) 雑費	60,000	38,432	60,000	100.0%	
<b>5. その他の支出</b>	156,265	156,265	156,265	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	156,265	156,265	156,265	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 事務所移転費用積立預金	100,000	100,000	100,000	0.0%	
<b>当期支出合計</b>	32,716,265	32,001,740	32,552,265	100.5%	(C)
<b>当期収支差額</b>	26,735	64,038	24,735		(A) - (C)
<b>次期繰越収支差額</b>	1,900,449	1,873,714	1,834,411		(B) - (C)

<参 考>

## 国際自動車コンプレックス研究会 第20期収支予算

(自 平成29年10月1日 至 平成30年9月30日)

### 収入の部

(単位:円)

科目	第20期予算	第19期予算	第19期決算	備考
会費収入	1,320,000	1,320,000	1,320,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	100,000	500,000	944,854	
雑収入	72	45	5	
当期収入合計	1,420,072	1,820,045	2,264,859	
前期繰越収支差額	162,028	253,955	253,955	
収入合計	1,582,100	2,074,000	2,518,814	

### 支出の部

(単位:円)

科目	第20期予算	第19期予算	第19期決算	備考
総会費	150,000	150,000	141,332	
研究交流会費	250,000	200,000	288,815	
事業費	350,000	1,200,000	1,726,639	
運営費	800,000	500,000	200,000	
予備費	32,100	24,000	0	
当期支出合計	1,582,100	2,074,000	2,356,786	
次期繰越収支差額	0	0	162,028	

議 案 3. 役員改選の件

役 職	前 任	新 任
常任理事	(株)田村組 代表取締役会長 田村 幹洋	(株)田村組 代表取締役社長 田村 太一
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長 加納 愛仁	トピー工業(株)執行役員スチール事業 部長兼豊橋製造所長 中村 毅
同	トヨタ自動車(株)常務理事田原工場長 牛尾 理	トヨタ自動車(株)常務理事田原工場長 伊村 隆博
同	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長 牧野 浩志	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長 林 恭吾
理事	ガステックサービス(株) ホテルアークリッシュ 豊橋 総支配人 宮川 直樹	(株)サーラホテル&レストランズ 代表取締役社長 宮川 直樹
同	(株)清水銀行 取締役会長 山田 訓史	(株)清水銀行 代表取締役頭取 豊島 勝一郎
同	トピー海運(株) 代表取締役社長 小田川 雅一	トピー海運(株) 代表取締役社長 竹田 秀和
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取 中村 昌弘	(株)名古屋銀行 取締役頭取 藤原 一朗
同	日本通運(株) 豊橋支店長 倉地 勝彦	日本通運(株) 豊橋支店長 守田 英司
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 大富 哲夫	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 田中 繁行

## 平成30年度 東三河懇話会役員名簿（案）

会 長	豊橋信用金庫 会長	吉川一弘
副会長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長	神野吾郎
同	(株)トヨタック 代表取締役社長	小野喜明
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	本多プラス(株) 会長	本多克弘
同	中部ガス(株) <b>取締役相談役</b>	中村捷二
専任理事		伊藤恵祐
常任理事	(株)アイセロ 代表取締役社長	牧野 涉
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	(株)サイエンス・クリエイト 代表取締役専務	原田公孝
同	新東工業(株) 特別顧問	川合悦藏
同	鈴与(株) 豊橋支店長	秋山博則
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	小林宏之
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	柴田忠男
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役社長	松井英治郎
同	(株)田村組 <b>代表取締役社長</b>	<b>田村太一</b>
同	中部電力(株) 執行役員 岡崎支店長	岡本祥一
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	古海盛昭
同	トピー工業(株) <b>執行役員スチール事業部長兼豊橋製造所長</b>	<b>中村 毅</b>
同	豊川信用金庫 理事長	半田富男
同	トヨタ自動車(株) 常務理事田原工場長	<b>伊村隆博</b>
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	伊藤正雄
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役社長	鈴木伊能勢
同	名古屋鉄道(株) 常務取締役不動産事業本部長	高崎裕樹
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株)名古屋支店ビジネス営業本部東三河営業支店長	鈴木由和
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	中野正則
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役	菊地啓一
同	(株)ほの国百貨店 代表取締役社長	<b>林 恭吾</b>
同	三菱ケミカル(株) 執行役員豊橋事業所長	宮森隆雄
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	遠藤 修
同	岡崎信用金庫 理事長	大河原 誠

同	鹿島建設(株) 執行役員 中部支店長	片山 豊
同	川北電気工業(株) 取締役社長	大津正己
同	<b>(株)サーラホテル&amp;レストランズ 代表取締役社長</b>	<b>宮川直樹</b>
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	木野章博
同	(株)清水銀行 <b>代表取締役頭取</b>	<b>豊島勝一郎</b>
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 専務取締役	今泉 悟
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	山口皓三
同	大成建設(株) 専務執行役員名古屋支店長	近藤昭二
同	(株)田中屋 代表取締役	田中正治郎
同	(株)中日新聞社 代表取締役会長	白井文吾
同	(株)中部 代表取締役 <b>会長</b>	石原 裕
同	中部電力(株) 顧問	川口文夫
同	東海CS(株) 代表取締役社長	富田茂充
同	(株)トーエネック 岡崎支店営業部 部長	伊藤芳幸
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	<b>竹田秀和</b>
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	<b>藤原一朗</b>
同	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長	安藤隆司
同	日本通運(株) 豊橋支店長	<b>守田英司</b>
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長	松田秀峰
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	<b>田中繁行</b>
同	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役副会長	磯村博宣
監 事	豊橋信用金庫 専務理事	市川智嗣
同	<b>(株)三菱UFJ銀行</b> 豊橋支社長	中谷安伸
同	中部電力(株) 豊橋営業所長	近藤 仁

常任相談役

中部ガス(株) **名誉顧問**

神野信郎

(敬称略)

議 案 4. 設立50周年記念事業の件

●東三河懇話会 設立50周年記念式典（案）

1. 日 時 平成30年10月24日（水） 午後4時00分～6時40分
2. 場 所 ホテルアークリッシュ豊橋
3. スケジュール  
午後4時00分～5時30分 設立50周年記念式典、ならびに記念講演会  
（移動）  
午後5時40分～6時40分 交流懇親パーティー
4. 事業予算 1,000,000円

●東三河懇話会 設立50周年記念誌（案）

1. 内 容 東三河開発懇話会（当時）誕生の時代背景から現在に至るまでの歴史と  
事業実績などを織り込んだ活動記録誌を発行する。（500部作製）
2. 事業予算 3,000,000円

## 東 三 河 懇 話 会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail [info@konwakai.jp](mailto:info@konwakai.jp)

URL <http://www.konwakai.jp>